

## 57. 洋裁の基礎技術の研究（第1報）

### 足踏裁縫マシンによる縫い方の手法に関して

昭和女子大 牛込 ちゑ  
堀津富久子

1. 縫い合わせにマシンを用いる場合、正しい手法によるのとそうでないのでは、遅速と成果とに影響すること明らかである。ことに縫いずまりと縫いずれとは、直接その成果の評定につながるから、布地に適正な針と糸とをえらぶとともに、いかなる手法が効果的であるかを考究したものである。

2. 最も普通に用いる婦人洋服地数種について、合理的と思う手法によったものと、そうでないものとの縫いずれ、縫いずまりの差を求めた。

3. この研究により、マシンの使用法を全く未験の学習者に指導する場合、時間と成果の両面から、最も効果ある手法によって練習させ、手法を理解するとともによい手法を身につけさせることが、実物の製作の重要な基礎工作であることを知ることが出来た。